

江田島市教育委員会会議録

平成25年11月18日(月)平成25年第13回教育委員会会議定例会を大柿分庁舎301会議室において開催しました。

1 開会及び閉会に関する事項

開会	午前	9時30分
閉会	午前	11時40分

2 出席委員

委員長	平上博文
委員長職務代理者	樋上美由紀
委員	坪木一恵
委員	柳川政憲
教育長	塚田秀也

3 出席説明員

教育次長	横手重男
学校教育課長	田中祐二
生涯学習課長	小川秀一

4 事務局

学校教育課	
課長補佐	田原留美子

5 傍聴人

なし

6 議事日程

- (1) 教育長報告
- (2) 会議録署名委員の指名
- (3) 議案第28号 江田島市文化財の指定について
- (4) 報告1 平成25年度「基礎・基本」定着状況調査の結果概要について
- (5) 報告2 江田島市内小学校教諭における体罰事案について
- (6) その他

7 議事の概要

○ 平上委員長

ただ今から第13回江田島市教育委員会会議定例会を開催します。

ただ今の出席委員は5名です。

定足数に達していますので、これからの本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりです。

○ 平上委員長

報告2「江田島市内小学校教諭における体罰事案について」の報告は、審議は非公開が適当ではないかと思えます。いかがでしょうか。

(全員異議なし)

○ 平上委員長

全員異議なしとして賛成と認めます。

○ 平上委員長

それでは、日程第1、「教育長報告」を行います。

○ 平上委員長

塚田教育長から、報告事項がありますのでこれを許します。

○ 塚田教育長

2ページをお開きください。「教育長報告」

(省略)

○ 平上委員長

以上で教育長報告を終わります。

○ 平上委員長

日程第2、「会議録署名委員の指名」は、会議規則第17条の規定により、あらかじめ署名委員の順番を決めていますので、坪木委員にお願いします。

○ 平上委員長

日程第3、議案第28号「江田島文化財の指定について」を議題とします。

提出者からの提案理由の説明を求めます。

○ 塚田教育長

議案第28号「江田島市文化財の指定について」の提案理由の説明をします。

江田島市文化財の指定について、文化財保護委員会に諮問をしたいので、江田島市教

育長に対する事務委任規則(江田島市教育委員会規則第4号)第2条第10号の規定により、委員会の議決を求めるものです。

内容につきましては、小川生涯学習課長をして説明させます。

○ 小川生涯学習課長

ただいま議題となっております議案第28号「江田島市文化財の指定について」の内容についてご説明します。

提案理由につきましては、先ほど教育長が説明しましたとおりです。

今回、江田島市文化財として指定を予定している5件について、江田島市文化財保護委員会に諮問したいと考えておりますのでお手元の資料によりご説明をします。

(資料で要点をまとめて説明する。) 以上で説明を終わります。

○ 平上委員長

ただ今の説明に対して、ご質問は又はご意見はございませんか。

○ 平上委員長

指定にあったての手順の説明をお願いします。

○ 小川生涯学習課長

所有者から指定申請が出され、これを受けて、文化財保護委員会に諮問し、次に文化財保護委員会で審議・調査し、教育委員会会議で決定する手順です。

○ 平上委員長

要約すると諮問をして、文化財保護委員会で会議をして、そのあと教育委員会会議を開催し、正式に文化財指定になっていくと手順と受け取りました。

○ 平上委員長

それでは本件の審議を終わります。

採決に移ります。原案に対するご異議はありませんか。

(全員異議なし)

○ 平上委員長

全員異議なしと認めました。

○ 平上委員長

続いて報告事項に移ります。

日程第4, 報告第1号 「平成25年度「基礎・基本」定着状況調査の概要について」

を議題とします。提出者からの説明を求めます。

○ 塚田教育長

報告第1号 「平成25年度「基礎・基本」定着状況調査の概要について」は、田中学校教育課長をして説明させます。

○ 田中学校教育課長

平成25年度「基礎・基本」定着状況調査の結果概要について報告1-①をご覧ください。まず、小中学校の各教科の結果について、順に説明をします。

小学校国語は平均通過率が市は69.0%で県平均70.1%を1.1ポイント下回っています。各領域等の定着状況は右上の表のとおりです。

伝国事項とは、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の略です。また、中段には、通過率60%以上の設問及び60%未満の設問を挙げております。下の枠をご覧ください。

結果から言えることとして、県の平均通過率を1.1ポイント下回っていますが、平均通過率が60%を超えていることから、基礎的・基本的な学習内容は概ね定着していると考えられます。今後の指導について、領域の中で60%を上回ってはいますが十分な結果が出ていないローマ字に関する指導、また、自分の考えが明確になるように論理的に文章を構成し表現させる指導をスモールステップで指導する必要があります。

続いて2ページ 小学校算数については、平均通過率が71.0%で県平均の69.8%を1.2ポイント上回っております。

今後の指導については、領域別で60%を下回っている「図形」について、指導の工夫を行っていく必要があります。

次に、3ページ 小学校理科については、平均通過率が63.4%で県平均の61.3%を2.1ポイント上回っております。

しかし、領域によって60%を下回っているもの領域として、「エネルギー」や「地球」があり、特に電気回路に関する内容に課題がありました。また、活用問題のタイプⅡにおいて、実験結果を基にグラフで表現させたり、それを読み取り考察させたりするなどの思考力・表現力を育成する必要があります。

次に 4ページ 中学校国語については、平均通過率が72.1%で県平均の71.7%を0.4ポイント上回っています。

今後の指導について、特に領域の中で60%を下回っている「書くこと」についての指導に取り組む必要があります。また、活用問題のタイプⅡから、図表と文章を関連させなが

ら読み、根拠に基づいて自分の考えをまとめたり、根拠を明らかにして書いたりすることの指導の充実が必要です。

次に5ページ 中学校数学については、平均通過率が72.6%で県平均の69.0%を3.6ポイント上回っています。

今後の指導については、小学校と同様に「関数」の指導に取り組む必要があります。またタイプⅡにおいて、複数の事業を総合的にとらえたり、資料の傾向をとらえ判断した理由について数学的表現を用いて記述させたりする指導を充実させる必要があります。

次に6ページ 中学校理科については、平均通過率が42.3%と課題がありますが、県平均の39.9%は2.7ポイント上回っています。領域別で60%を下回っている「化学」「物理」「地学」ごとに必要な知識や技能を定着させる必要があります。

また、タイプⅡにおいて、観察、実験の結果などを分析し解釈させるなど、思考力、表現力、判断力を育成する必要があります。

最後に7ページ 中学校英語については、平均通過率は67.3%ですが、県平均の72.1%を4.8ポイント下回っています。

今後の指導において、領域別で60%を下回っている「書くこと」に関する指導で、繰り返し文の決まりを確認させて英作文を書かせたり、話と話のつながりに注意させて英作文を書かせたりするなど、書く力を身につけさせる必要があります。

次に児童生徒の「生活と学習に関する意識・実態調査」の結果について説明します。8ページは小学校の結果です。設問に対して、「あてはまる」と回答した割合を%で示しています。

数字に色が付けているものは、県平均との差が3%以上あるもので、青がプラスで赤がマイナスです。また矢印は、本市における前年度との比較で3%以上あるもので、青の矢印がプラスで、赤の矢印がマイナスです。

例えば、設問「(3) 普段同じくらいの時間に寝ています。」では、今年度「あてはまる」が79.5%であり、昨年度84.5%と比較するとマイナス5ポイントのため、赤の矢印を付けています。設問「(6) 学校の授業の予習をするようにしています」では、今年度49.1%は昨年度の55.9%と比較して3ポイント以上下がっているため、赤い矢印を、また、今年度の49.1%は県平均の53.2%と比較して3ポイント以上低いため、数字に赤い色を付けています。

すべての項目についての説明は省略しますが、今年度は各設問に対する「あてはまる」の割合が昨年度と比較して下がっている、また、県平均と比較して差が大きいものがある傾向があります。

9ページをご覧ください。ここでは、社会的事象への関心や体験、また自己実現力や自己効力感についての設問があります。ここでは、今年度伸びている設問が多くあります。

特に昨年度まで、低いポイントであった設問 38 や設問 39 についても 10 ポイント近く伸びています。

続いて中学校の状況です。

11 ページをご覧ください。小学校と同様に社会的事象への関心や体験、また自己実現力・自己効力感についての設問で大きな伸びがあります。

これらは、ふるさとで学び、ふるさとを愛し、ふるさとに貢献できる人材の育成をめざし取組んでいるふるさと実感事業の成果であると考えております。

以上結果概要について説明をしました。

続いて、報告 2-②をご覧ください。

ここでは、教育委員会として、学力調査をもとにした取組を説明します。

この資料は、10 月校長会における資料です。

この資料をもとに、学力向上の取組として、次の 5 点を教育委員会として実施することを校長に指導しました。

1 点目は、学力チェックリストの活用です。

学力向上のために、全ての学校に対して、これだけは取組むべきこととして、その内容を定めました。2 ページをご覧ください。11 の項目を定めております。このすべての項目が実施するよう各学校が取組むことで、全校をあげて組織的に学力向上の取組となるよう具体的に指導を行います。

1 ページにおもどりください。2 点目は、市教委指導主事による学校訪問による状況把握及び指導です。今年中に各学校へ指導主事が 2 回訪問をし、先程述べました学力向上チェックリストによる状況把握と指導を行います。また全クラスの授業参観を行い参観の視点に沿って指導助言を行います。

3 点目は、学力調査問題（過去問）の実施です。来年 1 月には、再度、県や全国の学力調査を対象学年で実施し、授業改善の成果を検証します。また、3 月には、来年度これらの調査を受けることになる児童生徒を対象に過去問による学力調査を実施します。

これらにより、今年度の調査結果を踏まえた授業改善の検証や、また、学力定着の課題を把握し、次年度の取組に向けた対応を行っていくこととします。

3 ページをご覧ください。先ほど説明しましたチェックリストの 10 月末における各学校の進捗状況です。項目「5」と「6」が棒線となっているのは、今後、過去問を実施するためであります。それらも含め、これから各学校が、これらの項目に取組を行うよう市教委も指導助言を行っていきます。

1 ページをご覧ください。4 点目は、教育委員会主催教務主任研修を来年度 4 月 3 日に実施し、平成 26 年度学力調査に向けた指導を、5 点目として、来年度、学力向上の成果を出している先進校への視察を計画します。

以上、学力調査の結果概要及び学力向上の取組の説明を終わります。

○ 平上委員長

ただ今の説明に対して、ご質問は又はご意見はございませんか。

○ 樋上委員

各学校別の子どもの状況については、色々ありますが江田島市教育委員会の各学校の取り組みの指導はどう考えられていますか。

○ 田中学校教育課長

「基礎・基本」定着状況調査の問題は、担当学年ではなくて全教職員が取り組んでいます。

年度初めから、校長会・事務長会でも全員が取り組むことが一歩ですと指導し、今年度スタートしました。

○ 平上委員長

報告2「江田島市内小学校教諭における体罰事案について」を議題とします。

(非公開)

○ 平上委員長

それでは、報告を終わります。

「その他」

その他では、次の項目について報告を行いました。

(1) 平成25年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題について・・・学校教育課

(2) いじめ防止対策推進法成立後の取組みについて・・・学校教育課

(3) 行事等について・・・生涯学習課

・第9回江田島市美術展（10月26日から27日）の気づき及び感想について

・フェスティバル江田島2013（11月17日）の気づき及び感想について

・第9回ヒューマンフェスタ江田島（12月8日）について

(4) 平成25年度教育委員による施設訪問の気づき及び感想について・・・学校教育課

(5) 「学校へ行こう週間」における学校訪問等の気づき及び感想について

・・・学校教育課

(6) 江田島市教育委員会点検・評価報告書（平成24年度事業対象）について

(7) 平成25年度広島県市町教育委員会教育委員研修会報告（11月14日）

(8) 女性教育委員研修会の報告（11月6日）

次の教育委員会会議は12月16日（月）9時30分から開催します。
以上で閉会します。

江田島市教育委員会会議規則の規定により、ここに署名する。

江田島市教育委員長

署名委員